

平成30年教育委員会第10回定例会会議録

開会日時 平成30年10月11日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時41分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 塩澤 雄一
同職務代理者 塚本 亨
委員 天宮 久嘉
委員 日高 芳一
委員 齋藤 初夫
委員 大里 豊子

議場出席委員

・教育次長	駒井 亜子	・学校教育担当部長	杉立 敏也
・教育総務課長	鈴木 雄祐	・学校施設課長	若林 繁
・学校施設整備担当課長	杉谷 洋一	・学務課長	神長 康夫
・指導室長	和田 栄治	・統括指導主事	塩尻 浩
・地域教育課長	山崎 淳	・放課後支援課長	生井沢 良範
・生涯学習課長	加納 清幸	・生涯スポーツ課長	倉地 儀雄
・中央図書館長	鈴木 誠		

書 記

・教育企画係長 富澤 章文

開会宣言 教育長 塩澤 雄一 午前 10時00分 開会を宣する。

署 名 教育長 塩澤 雄一 委員 塚本 亨 委員 天宮 久嘉

以上の3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは出席委員が定足数に達しておりますので、平成30年教育委員会第10回定例会を開会いたします。

審議に先立ちまして10月9日付で教育長職務代理者として塚本委員を指名しましたので、報告させていただきます。

○**塚本委員** よろしくお願いいいたします。

○**教育長** 本日の議事録の署名は私に加え、塚本委員と天宮委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

それでは、議事に入ります。

本日は報告事項等が3件となっております。

それでは、まず初めに報告事項の1「平成30年度小学校水泳記録会実施結果について」お願ひします。

指導室長。

○**指導室長** 「平成30年度小学校水泳記録会実施結果について」説明をいたします。

こちらは9月6日木曜日に第66回として小学校の水泳記録会大会が15会場に分かれて行われました。対象は5年生で、1人2種目まで出場可能でございます。

平成30年度の1位から3位までの記録は資料にあるとおりでございます。今年度は男子25メートル自由形で小松南小学校の三田涼太郎さん、それから男子25メートル平泳ぎで住吉小学校の吉村朱翔さん、女子25メートル自由形で幸田小学校の大畑杏紀さんが歴代1位の記録を更新いたしました。その他、1位ではないですけれども、歴代の記録を三つほど更新されました。また、裏面ですけれども、参考資料として平成25年度から5年生で実施した歴代1位から3位についての記録を掲載してございます。当日はどの会場でも熱中症等の事故報告もなく、皆、堂々とした態度で記録会に参加することができておりました。

以上でございます。

○**教育長** それでは、ただいまの報告について、何かご質問等ございますでしょうか。

大里委員。

○**大里委員** 昨年、一昨年はたしか1日ずれたように記憶しておりますので、ことしは予定どおり開催できてよかったなと思いました。天候もちょうど暑過ぎず、水に入るのに寒過ぎずということでよかったなと思ひます。

○**教育長** 感想ということで、そのほかいかがでしょうか。

塚本委員。

○**塚本委員** ことしの記録会に関しましては、3点、記録更新というのがございましたけれども、総体的に個々の児童生徒が各自分の自己ベストをどの程度の更新ができたというのは、当

委員会で把握しておられるのでしょうか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 個々の生徒のタイムとそれからベストタイムを超えたかというところまでは、把握してございません。

○塚本委員 これは指導室長なり、あるいは現場で携わった方の感触として、当然ながら記録会は全体としてはプールの授業の延長線上で記録会がなされていますので、子どもたちの総体的な完泳率というのでしょうか。途中で、競泳中に立ってしまっただけで最後に 25 メートル到達したとかという部分での、今のプールの授業との進捗状況等の、その辺の現場での指導方法が、何か指令を出すべき点があるのであればお聞かせ願いたいと思うのですが。ちゃんと完泳するのだということ。

○教育長 指導室長。

○指導室長 小学校では基本的に低学年では、水遊びというようなことで潜ったりとかそれからくぐったりとかいうことから、徐々に、級などがありましてグループに分けて泳いで、泳げる子は泳いで、泳げない子はそれなりにゲーム形式などをやりながら水の中に潜るとかいうことをやりながらやっています。それから、5年生では1回休んで、その中でグループごとに泳力によってグループを分けて水泳指導を行うということをやっておるようですが。聞く話によりますと、3年生以上で水に入るのが怖いとか、顔をつけるのが嫌だというような子どもの場合は、その後プールに入るのが嫌になるような子もいるというようなことは聞いております。それから、幼稚園などとの連携で、幼稚園が小学校のプールに入ったりとか、小学生がプールで泳いでいるところを見学するというようなことをやっております。基本的には臨海もありますので、5年生で25メートル泳げるようにするというような目標ではやっているということでございます。

○塚本委員 ありがとうございます。1点だけよろしいですか。

○教育長 塚本委員。

○塚本委員 特にこの小学校の機会を捉えないと、中学に入ってから、改めて泳ぎを成就させるのは非常に難しい環境になってくると思ったものですから、一応ご感想をいただきました。ありがとうございました。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。

日高委員。

○日高委員 私もことしも2会場、東金町と花の木小学校の二つの会場に参加させてもらったのですが、気になるのは、記録の出た速い子はいいですよね。25メートルを泳ぎ切った子というのはすごい自信を持つと思うのです。中学に行ってもきっと中学でプールをやっても、喜んでプールに参加して頑張るのだらうと思います。ところが、5メートル進んだら立ち上がった

て、一呼吸ついて、急ぐ子どもは泳ぐよりも速い感じで歩いて進んで、そういう子どももいるわけですね。教育的に考えてどうなのかなって。ああいう子どもをあのまま卒業させて本当にいいのかななんて、6年生にね。今年、とてもそれが目についたの。途中で立つ子ども、いわゆる参考タイムという形なのです。括弧書きで、何分何秒でした、あるいは何十秒でしたって記録証をもらうわけですが、参考タイムをもらっている子どもたちを何とか救い上げる方法をまずは学校が意識しなきゃいけないのではないかと。小学校でああいう状況ということは、中学校になったら恐らくもう泳がないのではないかと。学校の水泳には不参加、そういう中学生が多くなるのではないかなとすごく心配になりました。

このあたりで教育委員会としては、そういう現状をどういうふうに捉えているのかな。あるいはどういう働きかけを今後しようと思っているのかな。これ今話題に出たからということではなくて、参加されていたらきっと感じるものがあつたのではないかなと思いますので、そのあたりのご意見を伺いたいと思います。

○教育長 指導室長。

○指導室長 今、委員おっしゃられたように、子どもがプールに入らなくなってしまつては、そのまま卒業してしまうということで、それについては25メートルぐらいは泳げるようにさせてあげたいと思っております。低学年のうちに水に慣れてというのがすごく大事なかなと思っております。その辺、幼稚園とか保育園なんかからも水に慣れたりして勉強しながら小学校低学年でもう少し工夫をしていけば、水泳の苦手意識を持たないでいけるのではないかと考えてはいるのですけれど、やはり25メートルを泳いで達成感を味わわせるということはずごく重要なことじゃないかと考えております。

○教育長 日高委員。

○日高委員 5年生ですから、あと1年あるのですよ。これ学校がその意識をしない限り解決されないと思うのですね。むしろ積極的に教育委員会から発信をして、各学校に、チャレンジ検定と同じなのです。これ水上でのことだけでも。全員ができて卒業していくという、それぐらいの意識を持たないと困ります。夏休みのプール、かつて昔は20日が原則でした。20日間。今は何日やっているかわからないけれども、それを有効活用して、最初の初期指導がとても大事だろうと思うのです。顔をつけられない子どもというのは、ずっと顔をつけられないですから。そうすると、幼児教育との関連、幼少連携と言っていますけれども、幼稚園時代から顔をつけるようなそういうことの訓練もしておくと、小学校に連携していけるのかなと思います。ぜひ、何らかの形で校長会あるいは役員連絡会、きょうありますが、これ私、きょう申し上げようと思っておりますけれども、こういう関係が大事ではないかな。そうでないと、なかなか解決していかない事象になってしまつたら困るなと思っています。そのあたりの働きかけもぜひお願いしたいなと思います。

以上です。

○教育長 よろしくお願ひします。そのほかいかがでしょうか。

齋藤委員。

○齋藤委員 私も2カ所行きまして、去年とことしを比べたら、途中で立つ子の数は減ったかなという感じ、その2カ所についてはですね。泳いでいる子のほうが、少し頑張っている子が多かったかなというのが去年と比べてありました。25メートルを泳ぎ切れないというのは息継ぎができないとあって課題が大体わかっていると思いますので、あと健康上の理由で泳げない子もいるかもしれないのですけれども、取り組んで泳げる可能性がある子については、25メートルを泳げる達成感みたいなのを5年生でできなかった後、6年でやるので、いろいろな課題を見つけてやったらどうかと思います。おととい日野市の小学校の視察をしましたが、そのときタブレットで授業を行っていて、算数だったと思いますが一定時間答えが出ていない子どものところは赤く出ていました。

そういう子どものところにピンポイントで行って、個別に教えていました。こうして不得意なところを乗り越えさせてあげるといふ取組みがみられました。本当に泳いだら心臓に負担がかかって悪い子もいるかもしれませんから、その辺のところも考えながら課題を見つけ、その課題に取り組める子については、本当に達成感を何らかの形で与えてあげようという意識で教育はあってほしいなと考えております。それが1点と。

それから私が行った学校の2箇所のうち、1箇所の水泳記録会で、一会場3校でやっていますよね。そのときに一番最後にリレーをやっていたのですよね、3人ぐらい代表が出てきて。そのリレーのときの盛り上がりもものすごく、こんなに盛り上がるのぐらい各学校が応援して、すごく楽しんだというか、すごいイベントになっちゃうのですね。聞いてみたらやっているとやっていないところとそれぞれあるのですっていう話でしたけど、いろいろな取り組みのよかったところが、言っただいて、そういうのもできたらいいなと考えて、それも押しつけるわけじゃないのですけれども。そういう情報も交換しながらやったらどうかと感じました。感想として、一言述べさせていただきます。以上です。

○教育長 よろしいですか。

天宮委員。

○天宮委員 住吉と柴原なのですけれども、直射日光の中で子どもたちはすごく元気で、応援もすごい気持ちいいぐらいでしたので、楽しかった。感想です。

○教育長 私からなのだけど、今、いろいろと言われたように学校数がものすごくある。今も立つ子が多かったところと。今、夏休み何日やっているか。昔は本当に20日ですよ。今は平均すると小学校はどのくらいになるかなというのと、5年生が大会をやっているという意味は臨海なんですよ。臨海である学校は遠泳って言って、5年生でこれだけの距離を泳ぐのだぞっ

て、目標を持たせてやっている学校がある。海行くぞって、ただ連れてって学校がある。その辺の実態というのはどんな状況なのですかね。

指導室長。

○指導室長 小学校の夏休みですか。

○教育長 夏のプール。

○指導室長 2週間ぐらい。

○教育長 2週間って言うと、10日。半分やっている。

○指導室長 臨海は、遠泳をやっている学校というのがありますけれども、それほどやっていない学校というのもありますので、それは学校によって差があるかなと感じております。

○教育長 今、幾つぐらいやっているかわかるか、遠泳っていう形で。

指導室長。

○指導室長 済みません。正確な数字は把握しておりませんが、多分、5校以内ぐらいだと思います。

○教育長 ではよろしいでしょうか。よろしくお願いします。

それでは、報告事項等1については終わります。

続きまして、報告事項等2「夏季休業中の児童・生徒の活動状況について」をお願いします。

指導室長。

○指導室長 「夏季休業中の児童・生徒の活動状況について」ご説明いたします。ことしの夏も都大会、関東大会、全国大会に出場し活躍した児童・生徒が大勢おりました。小学校の体育個人でございます。こちらの1ページですけれども、4段目にあります渋江小学校の下城風弥さん。これが第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会の水泳10歳以下男子50メートル自由形において、第15位という活躍がございました。それから、小学校体育団体でございますけれども、4ページになります。10段目と12段目、金町スイミングクラブに所属している幸田小学校の児童が第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会での水泳10歳以下女子4×50メートルフリーリレーにおいて第3位。二つ下の12段目、同じく金町スイミングクラブの金町小学校と北野小学校の児童が、水泳11歳から12歳女子4×50メートルフリーリレーにおいて第3位という活躍がありました。

それから、中学校の体育個人でございます。こちらは6ページをごらんいただければと思います。一番下になります。大道中学校の小宮山翔海さんが第48回全国中学校相撲選手権大会において、ベスト8となる活躍がございました。中学校体育団体ですが、飛びまして19ページになります。2段目に共栄学園中学校が第48回全日本中学校バレーボール選手権大会においてベスト16という活躍がございました。

それから、小学校音楽・文化、23ページからございます。5段目のところに半田小学校の日

高世令那さんが第16回ジュニアバレエコンクールジャパングランプリ2018、4・5年生の部で第4のグループの中で2位という活躍がございました。

それから、中学校音楽・文化、25ページになります。2段目です。金町中学校の山岸春香さんが第35回NHK杯全国中学校放送コンテストアナウンス部門に出場いたしました。5段目からですが、第58回東京都中学校吹奏楽コンクールにおいて双葉中学校、本田中学校、青葉中学校が東日本部門において金賞を受賞いたしました。双葉中学校は3年連続という快挙でございます。それから、27ページ、28ページ、29ページでございますけれども、こちらボランティア活動について記載しております。今年も介護施設や保育所へ行って、多くの児童・生徒がボランティア活動に参加し、周りの人を思いやり、自分ができることを生かして社会貢献を行いました。

この夏季休業中の児童・生徒の活動状況の一部は、教育委員会発行の「かつしかの教育」のページに掲載することになっております。

以上でございます。

○教育長 それでは、ただいまの報告について何かご質問等ございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 まず総体的な感想を述べさせていただくと、若干のわかりづらい部分を幾つかお聞きしたい点がございます。総括的な感想を申しますと、1ページから目立ったのが、全国大会の新宿小の根井君というのですか、ご兄弟だと思っておりますが、レスリング、キッズ修斗あるいはブラジリアン柔術と、小学生でもこういうことをやるのだなとまずびっくりしました。それぞれ素晴らしい成果で、優勝、準優勝という部分で頑張っています。それが一つと、洪江小の空手の組手のほうで、全日本の空手道の剛柔会というのですか。空手もいろいろな会派がありますが、立派な成績をとっていると感じ取りました。

次ページに入って、先ほども申し上げていると思うのですが、空手道と交流大会の中で本田小の方が、鼓太郎君と読むのでしょうか、準優勝、優勝なりという突出した成績をおさめたのが気になりました。その他にも、細田小の友利琉偉さんと読むのでしょうか、キッズ柔術選手権とか、キッズ修斗とか今風の大会が多岐にわたってあるのだなというのを素晴らしいと思いました。

あとは、スイミングのほうは先ほどご報告いただきましたが、今、金町スイミングクラブがすごく頑張って、JSS立石はちょっとしぼんじったのかなというのが、地元の住民としては寂しく思いました。あとは総体的に葛飾リトルジャイアンツは常勝軍団ですから、7ページにございますように、関東大会での本田中の子どもさんたち、あるいはほかのコミットしたチームが頑張っていることは素晴らしいと思いました。

また9ページにも書いてございますが、葛飾リトルジャイアンツは都大会でも優秀な部分と、

あとは修徳はいろいろな意味で頑張っているなど。その辺の力量があるのかなと感じておりました。

もう1点、今までどうだったか定かではないのですが、11ページですけれども。水元中の鈴木さんというのですか。陸上の女子砲丸投げで、堂々たる都大会と両方で第2位、優勝というのが気になったところでございます。

あとは吹奏楽は葛飾の伝統的なもので、24ページに戻りますけれども、関東大会でも細田小の笠原彰浩君というのでしょうか。第12回ベートン音楽コンクールバロックコースというのは、イメージは大体わかるのですが、どんな演目でこれだけの賞をおとりになったのか、わかる範囲で結構です。バロックですから大体イメージはあるのですが、それなりの音楽コンクールで最優秀賞というのはこういった人材が育っていくことが非常にうれしいなと思いました。

それと一番後段のほうの中学校のボランティア。これは各校がそれぞれ力を入れて、この地域の介護施設とか福祉施設でボランティア体験をして、喜ばれているというのは非常に心温まるものがあるのですが、こういった褒められた部分で最後にお聞きしたかったのは、夏季休業中に児童・生徒の活動状況というのがあるのですが、それ以外に生活面での指導室で把握できる中で、これは褒められた実績を持ったレポートなのですが、何か長期にわたった、夏季休業中に生活指導の面で何かお困りになったような情報があったら、お聞かせください。

○教育長 指導室長。

○指導室長 生活指導上の問題ということでは、特に報告は受けておりません。

○塚本委員 それはよかったです。

○教育長 よろしいですか。そのほかいかがでしょうか。

大里委員。

○大里委員 さまざまな運動や音楽・文化の分野での児童・生徒の活躍がありまして、今回全国大会の出場が非常に多いなという印象を持ちました。中では、ボランティア活動が若干少ないのかなという印象もあるのですが、多分、個人でここに載っていない部分もあるのかなと思います。前にありました意識調査のアンケートでは、地域の活動に参加しているという児童・生徒の割合がたしか低かったということもありますので、そのあたりもう少し掘り起こしていけるといいのかなと思いました。

○教育長 よろしいですか。感想とか、何かご質問よろしいですか。

塚本委員。

○塚本委員 もう1点だけ、総体的な感想なのですが。特に小学校・中学校とも直接学校がかかわる、かかわらないかの細目はわからないのですが、学校間の特徴というのでしょうか。非常に各種目にいろいろな子どもたちが頑張っている。新宿小ですとか、幾つかの学校が必ず出てくる、なぜというのが、ちょっと気になったのが一つございました。あくまでも感想で、そ

のよしあしではないのですが。校としても、校長先生あるいは体育の先生方の力の入れ方、そういった平素の力の入れ方と保護者の連携がうまくいって、これだけの実績、子どもたちは成果を上げたのだなという感想を持ちました。

以上です。

○教育長 齋藤委員。

○齋藤委員 夏季休業中の活動状況でも、頑張っているようすばらしいなということがわかるし、こうやってそれぞれ頑張っているのだなということがこれでわかるのですが。1学期、2学期、3学期って、こういう夏季休業中以外でもいろんなこういうデータはとられておられるのですか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 夏季のものだけはとっているという状況で、その他は児童・生徒の表彰のときに活躍については集約するということがございます。

○教育長 齋藤委員。

○齋藤委員 そういのを集約して、こうやって報告していただくということは不可能なのでしょうか。休業中はそうなのだけど、子どもとしては普段頑張っているところはこうやって紹介されなくて、夏休みに頑張ると紹介されるんだということになっちゃうわけですよ。これだね。子どもの立場から考えると、1年通して頑張ったのがこうやって教育委員会に報告されているのだというのは、みんな何となく頑張る、モチベーションが上がってくると思うのですけれども、可能であればいかがかなと思うのですけど。

○教育長 指導室長。

○指導室長 夏に、例えば中学校ですと都大会の後に関東大会、全国大会というのが基本的に夏休みにあるので、そこが一番大きな大会ということで、夏の活躍というのを入れているのだらうと思うのですけども。そのほかに、当然秋にも大会があったりとか、ほかの時期にもあったりするのですけれども。特に夏が集中的にそういう大会が多いので、そこはとりあえず出せるだろうと。ほかのところも検討して出せるかどうかということは、検討はできるとは思うのですけど、結構大変だというのがありますので。検討はしていきたいと思っております。

○教育長 出せるのなら出してくださいということで、出場なんていうのは必要ないのではないの。ちゃんと精査して頑張ったのをちゃんと報告するという形にしたほうがよろしいのじゃないかと思いますが。

大里委員。

○大里委員 学校だよりにはその都度、載っていましたので。各学校では保護者や生徒はそれを見てわかると思います。

○教育長 夏休み以外の。ただこういうところには来ない。

○大里委員 集約はされていない。

○教育長 日高委員。

○日高委員 今、話題にも出ましたけれども、ここに出されている活動の状況というのは、夏季休業中と限定をされています。でも、各学校が学校だより等でペーパーになってくる中には、その時期、時期に努力をしている子どもたちの様子、活躍した子どもの様子というのを小・中学校ともに入れていきます。それをどこかで集約できるといいなと思うのです。もちろん、参加しましたなんていう、今、教育長の話題にもありましたけれども。参加しました、参加を入れると莫大な数になると思うのです。膨大になってしまう。だから、その結果はある部分ではめざとく特徴あるものについて一応そういうふうには焦点化をして出していただくと、子どもの活躍の場面とか状況というのが把握できるのではないかなと思いますので、ぜひそのあたりはご検討いただければありがたいなと思います。お願いしたいと思います。

○教育長 よろしくお願ひします。そのほかよろしいでしょうか。

それでは、報告事項等2を終わります。

引き続きまして、報告事項等3「葛飾区立図書館の利用に関するアンケートの実施について」お願ひします。

○教育長 中央図書館長。

○中央図書館長 それでは「葛飾区立図書館の利用に関するアンケートの実施について」でございます。資料をごらんください。

まず「目的」でございます。例年「葛飾区立図書館の基本的な考え方『取組方針』」に、平成26年12月策定でございます、掲げた目標の着実な推進に向け、アンケートを実施をいたしました。しかし、今年度でございますが、「葛飾区立図書館の基本的な考え方『取組方針』」のほうで平成30年度で計画年度を満了いたします。このことから、新たな取組方針を策定するため、利用者等の利用実態やサービスに対する満足等を把握し、基礎資料とすることを目的にアンケートを実施するものでございます。

アンケート実施方法でございます。「図書館でのアンケート用紙による収集」。アンケート記載台に用紙と回収ボックスを設置いたしまして、自由に記入していただき、また貸出・返却の際にアンケート用紙を手渡すなどして協力を求めるものでございます。

次に、「図書館ホームページの電子申請による収集」でございます。図書館ホームページにアンケート入力フォームを設置いたします。また、区ホームページには図書館ホームページに移動するためのリンクページを掲載するものでございます。

次に、アンケート対象者でございます。中学生以上の方としてございます。

次に、実施期間です。平成30年10月20日土曜日から11月9日金曜日までとしてございます。

次に、周知方法でございます。図書館ホームページ・区ホームページ、区立図書館によるポスター掲示、広報かつしか（10月5日号）となっております。

次に、アンケートの標本数、目標値でございます。中央図書館で約400件、各地域図書館で200件掛ける6館、各地区図書館で50件掛ける5館、新宿図書サービスコーナーにおきまして20件ということで、合計1,870件を目標値とさせていただきます。

最後でございますが、アンケート内容でございます。別紙「葛飾区立図書館の利用に関するアンケート（案）」のとおりでございます。1枚おめくりいただきますでしょうか。「葛飾区立図書館のアンケート（案）」でございます。昨年度との違いでございますが、もう1枚おめくりいただきまして、問3、こちらの（1）「今後力を入れてほしい図書館サービスは何ですか」。次に、その裏面をごらんいただければと思います。（2）要望したい新しいサービスについて。次、問4の葛飾区立図書館で行っているボランティア活動について。ページが変わりまして、問5、こちらのほうは昨年と同じでございますが、その裏面でございます問6、こちら図書館で行っているサービスの認知と、これらが昨年よりふえている項目でございます。

ご説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○**教育長** それでは、ただいまの報告について、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

天宮委員。

○**天宮委員** このアンケートの集計結果は公表されていなかった。

○**教育長** 中央図書館長。

○**中央図書館長** 昨年度収集しましたアンケートにつきましては、年度末にご報告させていただきまして、その後にホームページで現在公開させていただいております。

○**教育長** そのほかいかがでしょうか。

塚本委員。

○**塚本委員** もう既にアンケートの通知をご報告いただいたというのは、今、天宮委員の質問でお答えいただいたのですが。過去何年間にわたって、どうアンケートを調査なさって、現場でアンケートの調査を踏まえた感触というのでしょうか。図書館現場で利用客の動きが変わったとか、何か肌身で感じるようなものがあって、非常に抽象的で申しわけないのですが、それを踏まえて、恐らく最後のほうのページで設問項目をふやしましたという聞き取りをしたものですから。感想だけで結構なのですが、暦年やっていたいただいた結果で、利用率が非常に上がったとか肌を感じたものは、非常に抽象的で申しわけないのですが、一番現場にいらっしゃるので、わかればお答えいただければと思うのですが。

○**教育長** 中央図書館長。

○**中央図書館長** まずブックポストにつきましては、例年設置についてずっとしてほしいという表記で、ご意見がありました。あと新宿図書センターを休館いたします際に、かわりのもの

を作ってほしいというようなことはございました。それについては、対応させていただいております。また、自由意見等などのご意見をいただいております際に、参考にさせていただいて改善させていただけるところは改善させていただいているところでございます。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。

大里委員。

○大里委員 この時期のアンケートの実施ということで、私、前にも違う時期にやってみたらどうかというようなことも考えたりもしたのですが、でもこのアンケートの結果、大いに期待するところです。社会教育委員のテーマも図書館でありますので、ぜひ今回もたくさん回答が集まりますように非常に期待します。

○教育長 感想ということで。そのほかいかがでしょうか。

日高委員。

○日高委員 1点だけ。標本数を大体1,800幾らとなって、2,000近いと。これ何か根拠はあるのでしょうか。

○教育長 中央図書館長。

○中央図書館長 昨年のアンケートの結果が、全体で、図書館の中でとったのが1,483件でございました。ホームページ上が465件ということで、大体1,800件ぐらいなのですが。昨年はアンケートが2週間ということで期間をとらせていただきました。今回は取組方針の改定に伴うというところを考えまして、3週間期間をとらせていただいております。そのために若干標本数の目標値を上げさせていただいたというところでございます。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、特にないということですので、報告事項等3を終わります。

そのほか、案件以外で何かご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

大里委員。

○大里委員 区立幼稚園の新入園児募集があると思うのですが。前回は飯塚幼稚園の募集、新入園児がふえましたが、水元幼稚園のほうが少ないというふうに思ったのですけれども。現時点で何か動きといますか、次の募集に関してあれば。

○教育長 来年度のということね。

学務課長。

○学務課長 区立幼稚園の募集については、今月15日から実施する形になるのですけれども、今のところ情報については入っていません。今後、園長会等を通じて状況は逐次、収集していきながら見守っていきたいと考えてございます。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、特にないようですので、これで第10回教育委員会定例会を閉会といたします。ど

うもありがとうございました。